

羽生市 自治会連合会だより

第3号

第3号 平成27年2月15日発行
 発行責任者 羽生市自治会連合会
 会長 入江 建夫
 総世帯数 21,735世帯
 自治会加入世帯数 16,658世帯
 加入率 76.6%
 (平成26年6月1日現在)

地域力の向上を目指して



羽生市自治会連合会
会長
入江 建夫

皆様方におかれましては、希望と飛躍に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
 また、平素は自治会活動にご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

自治会連合会は、これからも地域力の向上を目指し、「自ら考え、自ら治める」を理念とし、各自治会の連携や情報交換を行いつつ、新たな活動や組織づくりに意欲的に取り組んでいかなければなりません。

近年の自治会を取り巻く環境は、情報化や高齢化社会に伴い、様々な問題を抱え、自治会活動も課題山積です。そのため、自治会連合会では内部に地域活動に必要な3つの委員会を設け、各々の方向性を検討しています。

これからも自治会が皆様のために、より役立つよう努力して参ります。また、皆様の忌憚のないご意見等をいただければ幸いです。

市民と共に歩む輝ける年に



羽生市長
河田 晃明

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
 また、羽生市自治会連合会の皆様には、日頃から市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年羽生市は、市政施行60周年の節目の年でありました。記念式典をはじめ総合防災訓練や世界キャラクターさみっとなどの大きな行事を多くの市民との協働により、盛況のうちに開催することが出来、羽生市の新たな飛躍を確信したところであります。

今年も、自治会長をはじめとする地域の皆様と共に歩み、市民が主役のまちづくりを推進し、「住みたい、住み続けたい」と思える羽生市の実現に向け努めてまいります。

結びに、羽生市自治会連合会の益々のご発展をご祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。



『ひと輝くまち羽生』の推進をめざして



羽生市議会議長
保 泉 和 正

新年明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、自治会連合会の皆様には、日頃より住民自治並びに地域と行政の連携の要として、羽生市発展のために特段のご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて昨年は、政府の進める『アベノミクス』による円高是正等の経済政策が図られましたが、地方経済においては、いまだ景気回復の実感には乏しく、今後も地方自治の財政運営は厳しい状況が続くものと予想されます。

市議会といたしましては引き続き、市民が笑顔で健康に暮らせる活力に満ちたまちづくりの推進に全力で取り組む所存でございます。

結びに、羽生市自治会連合会の限りないご発展を心からご祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

平成26年度 羽生市 総合防災訓練が実施されました

11月16日(日)、羽生市総合防災訓練が、茨城県南部を震源とする震度6強の激しい地震が発生したという想定で、羽生市消防本部を会場として実施されました。羽生市では、平成20年から地域別の防災訓練が実施されていきましたので、今回は6年ぶりの総合防災訓練となります。

訓練は、まず午前8時のサイレンを合図に、市内の各家庭、職場を対象とした自分の身を守るための市内全域シェイクアウト訓練に始まり、その後、参加者が消防本部に集合する避難誘導訓練、災害医療訓練、初動活動訓練、初期救出訓練などが順次行われました。

自衛隊や県防災航空隊のほか、羽生市と災害時における相互応援に関する協定を結んでいる鴻巣市や山梨県富士河口湖町、友好都市の福島県



金山町からも参加があり、本番ながらの訓練となりました。

また、地域の自主防災組織を代表し市内74地区の自治会長らも、初動活動訓練の一環として、①ストープに点火された火を消火器で消す消火訓練、②歩行不能な被災者を適切な方法で応急救護所まで搬送する救助訓練、③簡易担架を作成し救助班を補助する訓練などに参加し、日頃の備えの大切さを改めて知る一日となりました。

大規模災害が起こった場合、市や消防署など防災関係機関は総力を挙げて活動に取り組みますが、一斉に119番通報などが入り、道路の破損・ライフラインの遮断などさまざまな要因で迅速な救出救助活動が行えない状況になります。災害の規模が大きくなればなるほど、「自助(自分の身は自分で守る)・共助(力を合わせて助け合い、自分たちのまちを守る)」が重要となりますので、普段から近隣の方と顔見知りになり、地域での協力体制を作っておきましょう。

そして、自分たちが災害を生き抜くためにも、周囲の人を災害から救うためにも、地域の人たちとの交流が図られる防災訓練には積極的に参加しましょう。

自主防災訓練 各自治会の取り組み

自治会単位でも、地域ごとの自主防災訓練が行われています。



岩瀬地区の活動状況

榎原 賢一

会の川（古利根川）左岸に土砂が堆積し出来た岩瀬地区は、かつて忍領と羽生領との境にあり紛争が絶えない地域でしたが、我が郷土には誇れる祭りが2つあります。

ひとつは、この1月で第7回を迎えた「みんなまで・楽しむ・ふれあい広場」。公民館を中心に、自治会、体振、各種団体が一体となり、子どもと大人が昔の遊びを通じてコミュニケーションと絆を深める新春のイベントです。小枝を集めて焼くさつま芋は、今では自治連岩瀬地区の名物となりました。

もうひとつは、公民館グラウンドに先輩たちの植えた、満開の桜が咲く下で行う「花見の集い」。飲み物、食べ物等が無料で提供され、披露される郷土芸能を見ながら、老若男女が訪れた春を楽しみます。



花見の集い

岩瀬には、病院、保育園、小中学校、高校、大学のほか、羽生駅西口には、商店や宿泊施設も揃っています。また、国道122号バイパス沿いには商業店舗が次々と立ち並び、新しい街へと大きく変貌を遂げています。

井泉地区の活動状況

保泉 準一

井泉地区は中心市街地の東に隣接し、地区のほぼ中央にある井泉総合グラウンド（元井泉中学校跡地）では、少年野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ等のスポーツが盛んに行われています。また、各地域では、発戸ホテルの会、花いっぱいクラブ、きれいにする会、お年寄りに感謝する会、子どもとお年寄りの餅つき大会など、様々な活性化のための地域活動が行われ、なかでも、発戸の長善寺の境内では、一昨年始めた「ラジオ体操」に子どもから高齢者まで多くの人が参加し、「おはよう」の挨拶から会話が弾み、心も体もリフレッシュしています。

井泉小学校では、昨年創立140周年を迎え10月25日（土）に東京アカデミック管弦楽団を招き、盛大に記念式典が行われました。



発戸のラジオ体操

生徒たちは、それぞれの楽器、指揮者の役割などの説明に目を丸くして関心を寄せていました。子どもたちの健康やかな成長のため、学校、PTA、自治会が力を合わせ地域一丸となつて取り組んでいます。

手子林地区の活動状況

古澤 幾久治

手子林地区は、上手子林、下手子林（上）、下手子林（下）、中手子林、神戸、町屋、北萩島の7地区、1,775世帯から構成され、それぞれの地域に歴史と文化があります。

我々は毎月、自治会長会議を開催し、地域毎の様々な諸問題を提議し話し合い、より良い地域をつくろうと頑張っています。

毎年8月の第1土曜日には、地区の最大イベント「てこばやしふれあい夏まつり」が開催されます。各地区、各種団体、公民館で活動している様々なサークルが参加し、焼きそば、焼き鳥、かき氷、赤飯等の模擬店が出店します。また、獅子舞、手子林音頭、園児のお遊戯、ビンゴゲームなども行われ、老若男女が集い、楽しいコミュニケーション作りが図られます。昨年よりは今年、今年よりは来年と、夏まつり実行委員



てこばやしふれあい夏まつり

は様々な思考を凝らし、毎年4月から委員会を開き協議し、手子林に住んで良かったと言える夏祭りにはしようと一同頑張っています。今年も盛大に開催しますので、地区外の皆様もぜひご来場ください。

行政との意見交換会を開催しました

自治会連合会では、毎年、災害対策やごみ問題など地域に関わる課題を市と話し合う「行政との意見交換会」を開催しています。

平成26年度は、11月18日(火)の午後、市役所301会議室にて、自治会連合会から常任理事ら18名が出席のもと、市からは総務部長をはじめ各担当職員の方々にご参加いただき、次の3つのテーマについて意見交換を行いました。

① 市の洪水対策(ハード面とソフト面)について

② 自主防災組織育成補助金の申請状況について

③ ごみ集積所の管理について
特に、洪水対策は、羽生市では利根川を背にしている立地状況により市の重要課題です。現在、水害対策として進めている河川等の改修工事について市側から説明があり、その後、市民が自ら行う防災訓練などの活動、市と市民の災害情報の共有化や洪水ハザードマップの活用等についても、活発な

意見交換がなされました。

また、ごみ集積所の管理については地域が抱える身近な問題です。地域の環境衛生を維持するうえで各自治会の活動が重要な役割を担っており、今後、ごみの諸問題の解決には市と自治会の連携が今まで以上に必要になるとの意見で一致しました。そして自治会では対応できない問題については市の適切なアドバイスをお願いすることで、今回の意見交換会を閉じました。



振り込め詐欺・手渡し詐欺が急増しています

最近では、従来のように金融機関を通じて「振り込ませる」ものに加え、犯人が現金やキャッシュカードを直接自宅等に取りに来る「振り込ませない」振り込め詐欺(いわゆる「受取型」の手口)が増加しています。

中には、市役所や税務署など公的機関の名前をかたる還付金詐欺もありますので、ご注意ください。電話で「お金」の話が出たら振り込め詐欺・手渡し詐欺と疑い、必ず家族や警察に相談しましょう。

平成26年度 自治連事業活動の流れ

開催月	活動内容
4月	組織強化委員会(3日)、改革推進委員会(7日)、理事会(8日)、自主防災推進委員会(21日)
5月	理事会(13日)、第2回定期総会(30日)
6月	理事会(10日)
7月	理事会(8日)、夏まつりのよさこい踊り運営(12日)
8月	理事会(12日)、組織強化委員会(26日)、自治連だより編集委員会(28日)
9月	自主防災推進委員会(3日)、改革推進委員会(4日)、理事会(9日)、自治連だより編集委員会(9日)、組織強化委員会(25日)、自治連だより編集委員会(26日)
10月	自主防災推進委員会(7日)、理事会(16日)、「自治連だより第2号」発行(15日)、改革推進委員会(22日)、自治連だより編集委員会(23日)
11月	自主防災推進委員会(4日)、理事会(11日)、自治連だより編集委員会(11日)、組織強化委員会(18日)、行政との意見交換会(18日)
12月	自治連だより編集委員会(2日)、自主防災推進委員会(4日)、理事会(9日)、改革推進委員会(16日)、勧誘活動のためアパート管理会社を訪問(18日)
1月	自主防災推進委員会(8日)、自治連だより編集委員会(9日)、理事会(13日)、組織強化委員会(21日)、新春懇親会(23日)
2月	自主防災推進委員会(4日)、視察研修会(5日)、理事会(10日)、改革推進委員会(12日)、「自治連だより第3号」発行(15日)
3月	理事会(10日)、自治連だより編集委員会(26日)

自治会に加入しましょう!

いざというとき、自治会が頼りになります。たとえば、災害が起きたときには、隣近所の助け合いが必要です。

日頃からご近所同士の交流を大切にしましょう。

ぜひ自治会への加入をお願いします。



編集後記

第3号を何とか皆様のご協力を賜り発行できました。昨年は各自治会で防災訓練が行われ、皆様から訓練中の写真をいただき掲載でき感謝です。今年1年、災害が無く穏やかで安定した年であることを願っています。

編集委員会

- 委員長 須永 定男(新郷)
- 委員 小野田和男(羽生)
- 榎原 賢二(岩瀬)
- 渋生田 進(新郷)
- 儘田 義光(手子林)